

# 東京海上日動火災保険株式会社 愛知公務金融部

## SDGsの取組

取組・活動内容	<p>東京海上グループは、2021年4月に創設したサステナビリティ委員会での論議を踏まえ、外部有識者からの助言も参考に、パーパス（存在意義）を起点として取り組むべき「8つの重点領域（マテリアリティ）」と「4つの主要課題」を特定しました。</p> <p>①気候変動対策の推進、②災害レジリエンスの向上、③健やかで心豊かな生活の支援、④D&amp;Iの推進・浸透、⑤デジタルを活用したイノベーションの支援・創出、⑥自然の豊かさを守る、⑦子どもたちへの教育・啓発、⑧適時適切かつ透明性の高い情報開示（※①～④が主要課題）グループの定める8つの重点領域はSDGs17の目標と密接に対応しており、重点領域における課題解決を通してSDGsの達成に貢献していきたいと考えています。</p> <p>また東海北陸エリアでは、2020年度よりSDGsの機運醸成を図るべく「SDGsフェスティバルin名古屋丸の内」を11月～1月頃に開催しております。SDGsの達成に取り組む企業の紹介や企業間の交流促進を目的として弊社名古屋ビルにテラスを開設し、企業・自治体の関係者をはじめ一般の方にも多数ご来場いただいております。</p>			
		目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済	(1) 3、8、17 (2) 9	(1) 健やかで心豊かな生活の支援として、健康経営支援サービスの更なる普及、促進への取り組みを実施。健康経営の支援企業数は約2,000社、また6年連続で「健康経営銘柄」に選定。 (2) 社会の変化に伴い企業に新たに生じるリスク・ニーズに対応する商品・サービスの提供。（BCP策定支援、サイバーリスク保険）	(1) 2021年度目標 健康経営銘柄への7年連続選定 (2) 2021年度目標 健康経営支援、BCP策定支援、サイバーリスク保険といった企業をリスクからお守りする商品・サービスの提供を継続
	社会	(1) 11、13、14 (2) 5、8、10	(1) 子どもたちへの教育・啓発の観点からみどりの授業、ぼうさい授業、リスクと未来を考える授業を継続して実施。 ・みどりの授業：マングローブ植林活動を題材に地球温暖化防止等について学び自分たちでできる地球環境保護活動を考える授業。 ・ぼうさい授業：地震・津波発生のメカニズム、発生時に身を守る方法、事前の備え等を学ぶ授業。（水害・土砂災害編もあり） ・リスクと未来を考える授業：パン屋経営を題材としたカードゲームを通じて経営を疑似体験をしながら「挑戦すること」「チャンスを生かすこと」等の大切さを学び、職業観を身につける授業。 (2) グループダイバーシティ&インクルージョンの取り組みを加速し、東京海上グループのすべての社員が多様なバックグラウンドを活かし、持てる力を最大限に発揮できる環境をつくるため、ダイバーシティ・カウンスルとグループダイバーシティ&インクルージョン総括（Group Chief Diversity & Inclusion Officer）を創設。特にジェンダーギャップの解消は東京海上グループ共通の課題として取り組んでおり、女性社員一人ひとりが自律的にキャリアを構築し、より広いフィールドで活躍できるための環境づくりや人材育成を積極的に推進。	(1) 2023年度末目標 みどりの授業累計受講者数5.8万人 (2) 2030年度目標 女性管理職以上の比率30%
	環境	13、14、15	(1) マングローブ植林を通じた地球温暖化防止および災害被害の軽減。 （マングローブ植林は1999年から累計約11,618ha） (2) 当社オペレーションにおけるCO <sub>2</sub> 排出抑制として、日米欧の拠点で再生可能エネルギーを導入。	(1) 2019～2023年度目標 更に1,150haのマングローブ植林を計画・実施 (2) 2030年度目標 ・自社温室効果ガス排出量2015年対比▲60%削減（自社の事業活動に伴うもの） ・主要拠点における電力消費量に占める再エネ比率100%